

消防試験研究センターだより vol.412

Voice...11

2025



top 「農業高校の現状と取組」

全国農業高等学校長協会 理事長 一ノ瀬 淳

こだま 「本校における危険物取扱者試験の取組」

茨城県立土浦工業高等学校

支部の広場

京都府支部からお届け



「消太」



表紙によせて 京都府支部からお届け



浄瑠璃寺 本堂と紅葉の風景 (木津川市)／表紙上段

本堂は国宝に指定されており、九体の阿弥陀如来像が安置された荘厳な空間。その前に広がる池と庭園は、浄土式庭園の典型であり、紅葉の季節には赤や橙に染まった木々が水面に映り込み、まるで極楽浄土のような幻想的な光景を生み出します。三重塔と本堂が池を挟んで向かい合う構図は、紅葉との調和が見事で、訪れる人々の心を静かに癒してくれます。晴れた日には、風の無い水面に紅葉が鏡のように映り込む「鏡紅葉」が楽しめ、写真愛好家にも人気のスポットです。

海住山寺 (木津川市)／表紙下段

鎌倉時代建立の国宝・五重塔で知られる古刹です。秋には境内が紅葉に包まれ、静寂な山中に佇む朱色の塔と鮮やかな木々が織りなす風景は文殊堂などの歴史的建造物と自然の調和を感じさせる絶景で訪れる人々を魅了します。海住山寺の紅葉の見頃は例年11月下旬頃で、紅葉の種類としては、カエデ・モミジ・イチョウ・センリョウなどが分布しています。

① 葵祭(京都市) 毎年5月15日挙行

葵祭は、京都の上賀茂神社と下鴨神社で行われる由緒ある祭礼で、平安時代の風雅を今に伝える行列が見どころです。中でも女人行列(路頭の儀)は、十二単をまとった女性たちが、雅な装束で都大路を練り歩く華やかな儀式です。写真には、色とりどりの衣装を身にまとった女性たちが整然と並び、優雅な所作で歩む姿が写されており、背景には新緑の木々や歴史的建造物が見られ、平安絵巻さながらの情景が広がります。観客の注目を集めるこの行列は、京都の伝統文化と美意識の高さを象徴する重要な祭礼の一部です。

② 祇園祭 前祭巡行 (京都市)

祇園祭は八坂神社の祭礼で、その祭事は、7月1日の「吉符入」に始まり7月31日の「疫神社夏越祭」まで、およそ1か月にわたって行われます。なかでも、祭のハイライトは7月17日と7月24日に行われる八坂神社の神輿渡御と34基の山鉾巡行。「京都祇園祭の山鉾行事」はユネスコ無形文化遺産にも登録されています。また、長刀鉾に搭乗している稚児は、神のお使いとされ山鉾巡行(前祭)で注連縄を切り、神域との結界を開放し、道中を清め天下泰平を祈る太平の舞などを行います。

③ 「時を紡ぐ京の秋 —時代祭行列」(吉野時代: 楠公上洛列)(京都市)

毎年10月22日挙行

京都の秋を彩る時代祭。平安から明治まで、千年の歴史を象徴する装束に身を包んだ人々が、静かに、そして誇らしく都大路を進みます。風に揺れる衣のひとひら、足音に重なる鼓の響き—それは、過去と現在が交差する瞬間。雅やかな色彩と厳かな空気が、見る者の心をそっと古の物語へと誘います。京都が誇る伝統の美が、今ここに息づいています。

④ 美山かやぶきの里 一斉放水(南丹市)

美山かやぶきの里一斉放水では先ずサイレンが鳴り、62基の放水銃から一斉に約5分間水が放水され、茅葺き民家が水のカーテンに包まれます。ちなみに美山かやぶきの里一斉放水はイベントでなく、2000年(平成12年)5月に美山民俗資料館が不審火によって焼失(H14)したことを受け、防火訓練の一環として年に2回(5・12月)行っているものです。なお、美山かやぶきの里一斉放水では観光客にも文化財を火災から守る必要性を理解してもらう意味もあるそうです。

002

top

農業高校の現状と取組

全国農業高等学校長協会 理事長

東京都立園芸高等学校長

一ノ瀬 淳

004

こだま

危険物取扱者試験への取組

茨城県立土浦工業高等学校 情報技術科

実習講師 石川 克馬

006

合格体験記

福岡県立八女工業高等学校

工業化学科 3年

田中 遼

008

支部の広場

京都府支部からお届け

010

研究最前線

AIを活用した救急隊運用最適化の研究開発

消防庁消防研究センター

012

チャレンジ! 乙種危険物取扱者

(第7回)『危険物取扱者制度』に関する練習問題と解説

013

topic

014

業務報告

8・9月の試験実施結果・免状作成状況

11

Voice...

消防試験研究センターだより

2025 November vol.412



茨城県立土浦工業高等学校

危険物取扱者試験への取組

石川 克馬(いしかわ かつま)

茨城県立土浦工業高等学校

情報技術科 実習講師

1. 学校紹介

本校は、土浦市に位置する茨城県内で3番目に歴史ある工業高校で、長年にわたり地域産業や社会を支える技術者の育成に力を注いできました。機械科・電気科・情報技術科・建築科・土木科の5科6クラスが設置しており、基礎から応用まで体系的に学べるカリキュラムが特徴であり、実習や課題研究、国家資格や各種検定取得を通じて、理論だけでなく実践力も身につけることを目標としています。

また、地元企業との連携によるインターンシップや、地域イベント・ものづくり体験教室への参加など、技術力と人間性を兼ね備えた人材を育てる、地域に根ざした工業高校として、多くの卒業生が産業界や社会で活躍しています。

近年の進路状況は、およそ就職6割、進学4割です。就職を希望する生徒1人当たり15件以上の求人を頂いており、ほとんどの生徒が県内の企業へ就職しています。進学先としては、工学部4年制大学をはじめ、工学部以外の4年制大学、公立大学や県内の大学校、専門学校への進学実績があります。

2. 学科の特徴

〈機 械 科〉(定員 2クラス 80人)

身の回りの製品を製造するには機械工業技術は必要不可欠であり、世の中の豊かさを支えています。近年、産業のオートメーション化が進展し続けており、機械工業分野では、NC(数値制御)工作機械の先端的な技術者や、技術継承者が求められています。これからの産業界のニーズに対応できるよう、機械科では「ものづくり」の基礎から応用まで幅広い学習を行っています。

〈電 気 科〉(定員 1クラス 40人)

電気科では、電気を「作る：発電」「送る：送電」「配る：配電」「使う：電気機器・電子機器」に関する知識・技術・技能を学習し、将来は電気で社会に貢献できる人間性豊かな電気技術者の育成を目指しています。

電気科では2020年より生徒達が取得した資格を活かして、チャレンジプロジェクト『SDGsの考え方を踏まえた環境教育の実践』をテーマに校内の照明設備をLED照明に交換する工事を行なっています。

〈情報技術科〉(定員 1クラス 40人)

コンピュータは現代社会のあらゆる分野で利用されており、私たちは多大な恩恵を受けています。情報技術科では、コンピュータ、電子技術、情報通信に関連した技術を幅広く学習します。電子回路組立ての技能検定や、工事担任者試験などの国家資格取得、情報技術を活かしたものづくりにも力をいれて取り組んでいます。また、実習や課題研究において、ものづくりマイスターによる専門性の高い指導を実施しています。

〈建 築 科〉(定員 1クラス 40人)

人が生きていく上で必要な「衣、食、住」。その中の「住」について学ぶのが建築科です。安全で住みやすい家づくりについての知識を身につけ、製図や実習等の実技科目を通して実践的な学習をします。

建築施工管理技術検定試験、建築大工技能士、建築CAD検定試験などの資格取得や専門知識・技能を活かしたものづくりに取り組んでいます。卒業後、2級建築士の受験資格が得られることも大きな特徴です。

〈土 木 科〉(定員 1クラス 40人)

人々が地球上で生活を始めて、最初に生まれた技術が「土木技術」といわれています。土木の仕事は、人々が生活する上で欠かせない道路・鉄道・橋・トンネル・ダム・公園・上下水道など社会基盤をつくることです。また、自然や環境のことを考えながら進める大切な仕事です。土木科では日々の学習を通して、人間性豊かな土木技術者の育成を目指しています。



3. 情報技術科における資格取得への取り組み

情報技術科では、1年次に計算技術検定と情報技術検定、2年次に工事担任者第2級デジタル通信を全員受験しています。そのほかにも、ITパスポート、技能検定（電子機器組立て3級）、第二種電気工事士、危険物取扱者乙種などの国家資格、計算技術検定や情報技術検定などの全国工業高等学校長協会主催の検定、ワープロ検定などの各種資格・検定の取得を推進し、課外指導を実施しています。

1年次から積極的に資格・検定に挑戦し合格することで、学ぶ楽しさや達成感を実感し、学習習慣や学習に対する自信を得られるように取り組んでいます。また、クラス全体や希望者全員で合格を目標とし、みんなで頑張るという意識や雰囲気づくりを大切にしています。

また、合格した生徒への称賛を込めて、各種試験に合格した合格証や賞状、生徒の写真などを実習棟の廊下に掲示しています。それを見て受験を希望してくれる生徒や資格取得へ興味を示してくれる生徒もあり、受験者数・合格者数の向上につながっています。

4. 情報技術科における危険物取扱者試験への取り組み

本校では、毎年2回（7月、1月）に本校生徒対象の試験が実施されます。情報技術科では希望する生徒のみが受験し、そのほとんどが乙種第4類を受験しています。試験に合わせ、1か月半ほど前から朝または放課後に以下の内容で課外指導を実施しています。

- 1 各分野の説明・解説（毎朝 7:50～8:30 約1か月）
- 2 模擬問題・解説（毎週 月・水・金 16:00～18:00 6～8回）

表1 情報技術科における乙種第4類受験者数と合格者数および合格率

	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
	7月	1月	7月	1月	7月	1月	7月	1月
受験者(人)	10	5	16	13	4	12	7	—
合格者(人)	6	4	4	4	2	10	6	—
合格率(%)	60.0	80.0	25.0	30.8	50.0	83.3	85.7	—

令和5年度以降、「基礎的な物理及び基礎的な化学」の分野の出題傾向が変わり、難易度が高くなっているように感じています。特に「化学」に関する問題が多く出題されるようになりました。令和6年度以降、この分野について重点的に行うことで合格率を高められるように意識して課外指導を行っており、現時点ではその成果が出ているのではないかと考えています。

また、Google Classroom や Google Form でテストを作成・配付し、課外時間外での復習を行うように指導しています。ICTを活用しスマートフォンなどから問題を解けるようにしたことで、より学習に対するハードルが下がったように感じています。また、生徒の習熟度が把握しやすくなり、課外の内容へのフィードバックや各生徒への個別のアドバイスや指導も行いやすくなりました。紙ベースでの学習とICTを活用した学習方法のそれぞれの良さを組み合わせることで、学習効率を高められるように取り組んでいます。

5. おわりに

私が本校に赴任し、5年目となります。本校生徒に対しての個人的な印象としては、しっかりとした能力や資質があるにもかかわらず、それを生かしきれていない生徒や学習に対して自信や主体性が低い生徒が多くいるように感じています。学生の期間はもちろんのこと、就職し社会に出てからも新たな知識や技術を身につけるために考え学ぶことは、必ず求められるはずです。また、過去に取得した資格により得られるチャンスが広がるかもしれません。そんな時に資格取得を通して得た経験や自信、知識や技能が糧となってくれることを願い、資格指導を行っています。

工業について学びたいと考え本校に入学し、大きな可能性をもった生徒たちが、本校での学びを通して成長するとともに社会に貢献できる人材の育成を目指し、教職員一丸となって取り組んでいく所存です。

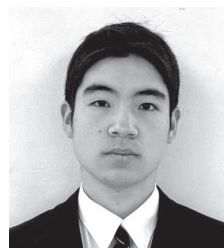
〈生徒の話 情報技術科 3年生〉

私は高校1年の冬に、初めて挑戦した国家資格である危険物取扱者乙種第4類に合格しました。中学校で学んだ化学や物理の知識が役立つと知り、受験を決めました。先生から出された課題にしっかり取り組み、さらに自主的に苦手分野を学習しました。朝早く登校したり放課後に残ったりして勉強を続けるのは大変でしたが、継続して頑張ったことで自分の成長や達成感を実感しました。

その後、第二種電気工事士や技能検定、工事担任者第2級デジタル通信にも合格し、高校生活の目標の1つだったジュニアマイスターゴールドを取得することができました。これまでの経験を生かして、これからも様々なことに積極的に挑戦していきたいと思っています。

合格体験記

総合化学メーカーへ就職するために



田中 遼 たなか りょう

福岡県立八女工業高等学校
工業化学科 3年

1. 学校紹介

八女工業高校は、福岡県下で三番目の県立工業学校として、大正9年に創立され今年で105周年を迎えた永い歴史と輝かしい伝統を誇る工業高校です。約3万名の卒業生は、産業界を中心として各界で、それぞれの分野の発展に大きく貢献されています。

現在は電子機械科・IT自動車科・電気科・情報技術科・土木科・工業化学科の6学科を有する県下屈指の工業高校として、また地域社会に認められた高校として充実・発展を遂げています。部活動加入率約95%、複数の部活動が県大会・九州大会・全国大会に出場しています。また資格取得等にも力を入れており、文武両道を実践しています。「誠実・勤勉・協調」の校訓の下、在校生は先輩方の功績に支えられながら、人間性豊かな産業技術者を目指し、進路実現に向けて邁進し続けています。



2. 学科紹介

本校工業化学科は昭和38年4月に設置され、今年で62年目を迎えます。平成15年9月に新実習棟、23年4月にプラント実習用連続精留装置、本年3月には原子吸光光度計が更新され、化学工業等の分野において製造や分析等に関わる実践的技術者、更に知識や技術を高めるための進学等を目標として勉学に励んでいます。

学年を問わず工業化学科生徒115名の仲が良く、親しみの中にも礼儀を大切にしながら、学校行事や資格取得など、一緒に頑張っています。専門教科8名、学科所属の普通科4名の先生方とも、敬語で冗談が言い合えるよ

うな雰囲気、コミュニケーション能力を向上させながら、明るく・楽しく・元気よく学校生活を送っています。

3. 進路状況

工業化学科の令和7年3月卒業生(39名)については、就職32名、進学6名、公務員1名です。就職先は化学工業・食品加工等の製造業であり、危険物取扱者の知識を活かすことができる関連業種に就職しています。また、23名が自宅から通勤しています。

学校全体としては、企業への就職が約60%、公務員が約20%、進学が約20%です。

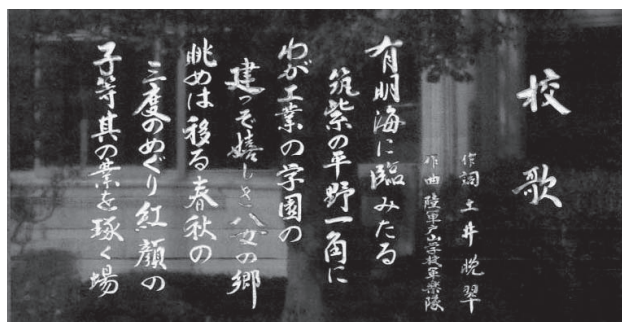
4. 危険物取扱者取得者数

工業化学科3年生(35名)令和7年9月30日現在

甲種	乙種						
	1類	2類	3類	4類	5類	6類	全類
4	13	14	26	31	24	24	12

八女工業高校では、1年生の11月に電子機械科、IT自動車科、工業化学科はクラス全員、電気科、情報技術科、土木科は希望者が、危険物取扱者乙種第4類を受験します。どの学科の生徒も、乙4取得後はその他の乙種にチャレンジし、不合格だった生徒も、再度乙4にチャレンジします。

部活動入部率ほぼ100%の本校では、試験と試合が重なることがよくあります。「だったら、受験しない」という選択にはならず、「だったら、学校以外で受験しよう」という流れになります。学校では、6・11・3月に試験が実施されています。福岡県、佐賀県、熊本県でもそれぞれ年に3回ずつ実



施されています。危険物取扱者試験担当の先生から、担任の先生に試験の日程などの情報が届きます。そして受験申請から免状受取まで、学校での試験と同様に先生方が対応してくださるので、安心して学校外でも受験できます。

5. 自己紹介

(1) 八女工業高校工業化学科に入学した理由

私にとって、父は憧れの人です。父と同じ道を進みたいと思い、八女工業高校の工業化学科に入学しました。とても真面目で、何事にもまっすぐ向き合い、仕事に対しても妥協しない、努力の人である父は、私にとってはとても怖い存在です。特に叱られるわけではありませんが、日頃ほとんど話すことはありません。

夏休み前から、就職試験の面接練習が始まりました。しかし、9月に入ってもうまく話すことができませんでした。「人生の先輩である、お父さんと話しなさい。」と先生から背中を押され、父と初めて就職について話をしました。何かがずっと取れた気がしました。次の日から、スムーズに話すことができるようになり、無事に就職試験を終えることができました。そして、父と同じ総合化学メーカーから内定をいただきました。

(2) 部活動について

中学校からバスケットボールを始め、高校でもバスケットボール部に入部しました。50名弱の部員がいる中、ユニフォームをもらえることはありませんでした。誰よりも大きな声を出すこともできませんでした。しかし、とにかく走った6年間だったので、長距離が得意になりました。

(3) 危険物取扱者甲種取得について

1年生から3年間担任をしてくださっている古賀先生は、「乙4だけではなく、乙種全類が甲種を取って卒業しよう。」と、入学時から言われていました。ですから、私のクラスでは危険物取扱者甲種受験は、当たり前のことでした。しかし、いざ勉強を始めると簡単ではありませんでした。先生からの指導もありましたが、「今までこんなに勉強したことがない」と言えるほど、自宅での時間もほとんど勉強に費やしました。試験当日は、「履歴書に書ける最後のチャンス」というプレッシャーに押しつぶされそうになりながらも、必死に問題と向き合いました。

結果をじっと待つこともなく、二級ボイラー技士の勉強が始まりました。試験の前に1学期期末考査もありましたが、良い成績を修めることができました。甲種にチャレンジしたことで、勉強のコツ、時間の使い方、意識を自

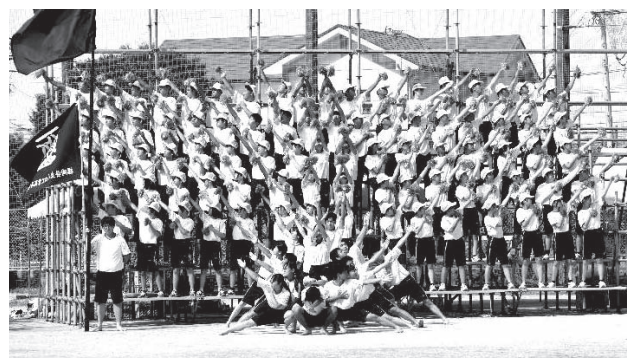
分でコントロールできるようになっていました。

そして、忙しい日々を過ごしている間に甲種の結果がやってきました。「合格」、努力は報われると思えた瞬間でした。その後、二級ボイラー技士試験も無事に合格しました。甲種免許を取得するまでの道のりが、そこで終わることなく今でも続いているように感じます。

6. 最後に

10月18日に実施予定の体育祭では、応援団員をします。あまり人前に出ることが得意ではない私にとって、もの凄い決断でした。応援団の練習は、夏休みから始まりました。就職試験の勉強、面接練習などと並行することはとても大変でしたが、1、2年時とはまた違った、とても忙しく充実した夏休みでした。

工業化学科では、3年生14名、2年生3名、1年生2名で応援団が結成されています。工業化学科は、3学年とも約半数が女子生徒なので、応援団員も約半数が女子です。他の学科はほとんどが男子生徒ですが、工業化学科らしい演舞で優勝を狙います。



総合化学メーカーへ就職するために入学した八女工業高校ですが、進路実現するだけでなく、それまでの過程がとても大切であることを学びました。高校で資格を取得することは、みんなが取るため、履歴書に書くため、採用試験で合格するためなどと思っていました。しかし、危険物取扱者甲種に挑戦したこと、合格したことで、自信ができました。人として成長することができました。そして、このような機会を得ることが出来ました。合格できて良かったです。

12月には文化祭があります。これからの学校生活を満喫しながら、3月1日の卒業式と4月1日の入社式を無事に迎え、しっかりと親孝行していきます。



○ はじめに(京都府の概要)

京都府は、令和6年10月1日現在で253万人弱となっており、令和2年から毎年1万人以上の人口減少が続いていますが、北は京都観光でもおなじみの天橋立や舟屋などがある日本海と福井県、南は大阪府と奈良県、東は滋賀県と三重県、西は兵庫県とそれぞれに接した南北に細長い地形です。その南北を高速道路である京都縦貫自動車道で、東西は名神高速道路により東は東名高速、西は中国自動車道へもアクセスでき、さらに鉄道に於いても京都駅を起点に新幹線で列島を東西に行き来できるなど、その交通の利便性やインバウンドの影響もあり、国内外の多くの観光客で賑わっています。

また、その賑わいの要因の例を挙げますと本誌表紙等の写真にある建造物や京都三大祭り、その他にも10円玉で馴染みのある平等院鳳凰堂や東寺、石清水八幡宮など国宝の建造物数が76棟（令和7年4月1日現在全国298棟 文化庁調べ）あり、あまり知られてはいませんが高校卒業生の進学率、コンデンサ（リチウムイオン電池含む蓄電器）の出荷額、ほんしめじの生産量なども京都府が全国1位で、さらには京の和菓子や京の漬物など、京都特有の食にまつわるものも全国にその名が知られ、話題が多岐にわたる地域となっています。是非、機会がありましたら、日本の歴史や文化を体験できる『京都』にお越しください。

○ 支部の状況

当支部は、京都府庁南側に位置しているビルから、平成8年4月1日に現在の『京都府庁西別館』の3階へ移転しました。ここは京都府庁西側の通りを一本挟んだ場所に位置し、京都駅から京都市営地下鉄で8分の丸太町駅を出て徒歩10分ほどのところに位置しています。この入居場所は当支部を所管している京都府庁が真横にあり、日頃から主管課の方と顔を合わせる機会も多々あることから、試験計画の調整や免状に関する業務連絡などもスムーズに進められ、その体制は支部長と職員2名の3名と業務繁忙期には臨時職員（1名枠を設定）と協力しながら日々邁進しております。

○ 試験業務の概要

【総括事項】

申請者数（表1及び表2参照）には、年度ごとに多少の

増減はありますが極端な減少は見られません。これは府内の各消防機関、その他の関係団体及び各学校の担当者（教諭・教官）らによる願書の配布や、受験者への資格取得への意識づけや指導など、受験促進について配慮いただいていることで保たれていると考えています。ただ、府内高校の生徒数については毎年減少しており、この5年間（R2～R6）で3000人以上の減少となり、今後も少子化のあおりを受け、当分の間生徒数が増になることは見込めないと考えられるため、高校生の受験者数は今後も減少していくことが推察できます。その一方で、外国籍の方の受験者数は増加傾向にありますが、それに伴い資格判定の書類（外国語）確認の難航や、願書等への氏名の記入（入力）文字数の不足など課題も増えております。

また、電子申請拡大に伴い、一般試験での電子申請率については令和5年度より令和6年度と徐々に上昇傾向にあり、今年度（R7年度）の第1回に於ける一般試験の危険物取扱者試験及び消防設備士試験の電子申請率（約79%）は昨年度を大きく上回っており、今後も伸びることが推察されます。

その反面、企業や高校、専門学校など団体登録をしている団体（58団体のうち実申請団体は34団体程度）の令和2年度から令和6年度までの同団体に於ける電子申請率の平均は約10%で大きな伸びは認められませんでした。ただ、令和7年度に入り、高校を含む数団体から電子申請に関する問い合わせが増えてきたところです。（参考：令和6年度の電子申請率は約8.8%）

【危険物取扱者試験の実施状況】

令和2年度から令和6年度までの危険物取扱者試験の実施状況については、一般試験を年度ごとに同回数実施しており、京都府北部方面で4回（乙4のみ1回半日含む）、南部方面で3回の合計7回（7日間）行い、また特定受験地での試験は毎年度、高校、専門学校、消防学校及び海上自衛隊などで概ね16回（概ね11日間）行ってきました。（高校の行事や在席人数などにより回数減となったこともありました。）

この5年間の申請者数の推移は下記の表1のとおりです。

【消防設備士試験の実施状況】

令和2年度から令和6年度までの消防設備士試験の実施状況については、一般試験を年度ごとに、京都府北部方面で1回、南部方面で3回の合計4回（4日間）行い、特に消防設備士試験については、近畿2府4県からの受験者に

表1 危険物取扱者試験受験申請者数の推移(単位:人)【京都府支部】

区 分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
甲種	428	454	434	448	474
乙種	3,658	4,147	3,928	3,816	3,922
うち乙種第4類	3,067	3,515	3,344	3,240	3,300
丙種	317	237	252	193	168
合計	4,403	4,838	4,614	4,457	4,564
うち高校生	657	739	620	452	425
比率(%)	14.9%	15.3%	13.4%	10.1%	9.3%
うち電子申請	1,505	2,049	2,260	2,315	2,780
比率(%)	34.2%	42.4%	49.0%	51.9%	60.9%

※高校生の申請者数: 団体登録のある高校からの申請者数のみを記載

とどまらず、試験会場へのアクセスの良さもあり、全国各地からも毎年受験に来られ、また特定受験地として実施している海上自衛隊での試験も毎年度1回行ってきました。さらに、少人数ですが高校生(京都府近隣府県の高校生含む)も、資格取得に向け毎年積極的に受験されています。

この5年間の申請者数の推移は下記の表2のとおりです。

表2 消防設備士試験受験申請者数の推移(単位:人)【京都府支部】

区 分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
甲特	44	58	50	53	52
甲種(甲特除く)	2,225	2,119	2,046	1,939	2,270
乙種	2,276	1,861	1,860	1,679	1,739
合計	4,545	4,038	3,956	3,671	4,061
うち電子申請	1,835	1,726	1,946	1,939	3,024
比 率	40.4%	42.7%	49.2%	52.8%	74.5%

○ 免状業務の概要

令和2年度から令和6年度までの免状交付件数の推移は、下記の表3のとおりですが、その中で令和3年度及び令和4年度に於ける危険物取扱者の新規免状の交付件数が他年度より多いのは、それぞれ前年度実施の試験に係る新規免状の交付件数分(R2年度分542枚・R3年度分448枚)が加算されているためですので申し添えます。

なお、新規免状交付以外の書換え等に大きな減がないのは、関係団体実施の各種法定講習後に毎回多くの書換え等の申請がされていることが大きな要因です。これは同講習時での各講師等からの呼びかけ(指導)の成果(効果)によるものと推察しております。

○ 試験監督員の状況

当支部の試験監督員の状況は、府職員OBや府内消防OBの方などと、試験会場となる専門学校等の先生方に委

表3 免状交付件数の推移(単位:件)

【京都府支部】

区 分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
危険物取扱者	新規	1,217	2,004	2,114	1,539
	写真	1,445	1,382	1,387	1,309
	本籍等	28	35	30	33
	再交付	134	126	121	134
	計	2,824	3,547	3,652	3,015
消防設備士	新規	1,391	1,253	1,032	1,017
	写真	178	155	194	176
	本籍等	3	7	3	0
	再交付	15	15	11	20
	計	1,587	1,430	1,240	1,213
合計	4,411	4,977	4,892	4,228	4,129

嘱しています。特に各学校の先生方には、受験者数が予想を超えた場合でも、臨機に試験監督員を募って増員していただいている現状です。ただ、現監督員の年齢等による退任や、試験会場が変更となった場合でも対応できるよう新たな監督員確保に努める必要があると考えています。

○ 受験促進

当該試験の受験に向けた事前学習により予防知識を習得された方は勿論のこと、試験の合格により免状の交付を受け、その資格取得された方が増えることは、消防行政における目的の一つである火災予防へも大きく繋がるという意味を持つことから、今後も府内の各消防機関へ足を運び、管轄の学校、事業所等への資格取得への呼びかけなど、ご協力をいただけるようお願いしてまいります。

○ 終わりに

当支部の試験計画からその実施及び免状作成から交付まで、その業務については京都府(主管課)と相談し、協力を得ながら各種調整を行い実施しておりますが、そこへ至るまでには府内の消防機関や各学校などの関係機関等からもご支援をいただいております。さらには近畿ブロックを中心に他支部との情報交換や意見をいただきながら現在の業務運営に至っておりますことを、この場をお借りして皆様に感謝を申し上げます。

今後に於いても、センター本部とも手を取り合いながら当支部職員一丸となって業務に励んでまいりますので、これまでと同様に協力をお願いいたします。

AIを活用した救急隊運用最適化の研究開発

消防庁消防研究センター 特別上席研究官 久保田 勝明

1. 研究の背景及び概要

令和5年中の救急自動車による現場到着所要時間の平均は約10.0分(前年約10.3分)となっており、新型コロナウイルス感染症禍前の令和元年と比べ、約1.3分延伸している。また、病院収容所要時間の平均は約45.6分(前年約47.2分)となっており、令和元年と比べ、約6.1分延伸している。こうした状況を踏まえ、消防庁消防研究センターでは救急需要を予測して救急隊の最適配置を図ることにより、現場到着所要時間の平均の短縮が期待される新しい取組としてAIを活用した救急隊の効率的な運用手法の研究開発を行っております。本投稿ではこの研究についてご紹介させていただきます。

この研究は、平成29年から開始し令和6年度に実用化しております。この研究成果は大きく2つあり、一つは①日々の救急隊の運用を最適化する手法、二つ目は②救急需要の将来推計から将来の運用を最適化する手法です。(図1)

1つ目の①日々の救急隊の運用を最適化する手法(図1の上段)は、過去の出場事案とその時の天気予報、月、曜日等か

ら当日～3日先の救急需要を予測して、需要が多いところへ事前に救急隊を移動配備する等により救急隊の運用効率化を図ります。これにより現場到着所要時間の平均の短縮や既存の救急隊配置では現場到着所要時間の平均が20分以上と遅かった事案を早くする、救急隊毎の出場件数分布を平準化する効果があります。

2つ目の手法である②救急需要の将来推計から将来の運用を最適化(図1の下段)は、3年や5年先などの救急の将来推計から将来の救急隊の運用最適化を検討する手法です。この手法は、将来の管内全体及び1キロメッシュ毎の出場件数予測及び将来の現場到着所要時間の平均を予測することが可能で、この結果を用いて将来の消防本部が目指す救急体制に従った救急隊配置計画を検討することが可能です。具体的には、例えば5年後に救急出場件数が〇〇件増加すると予測した時に、現場到着所要時間の平均を△分以内にするため最も効率的な救急隊(日勤救急隊含む)の増隊数や配備場所を検討することが可能です。

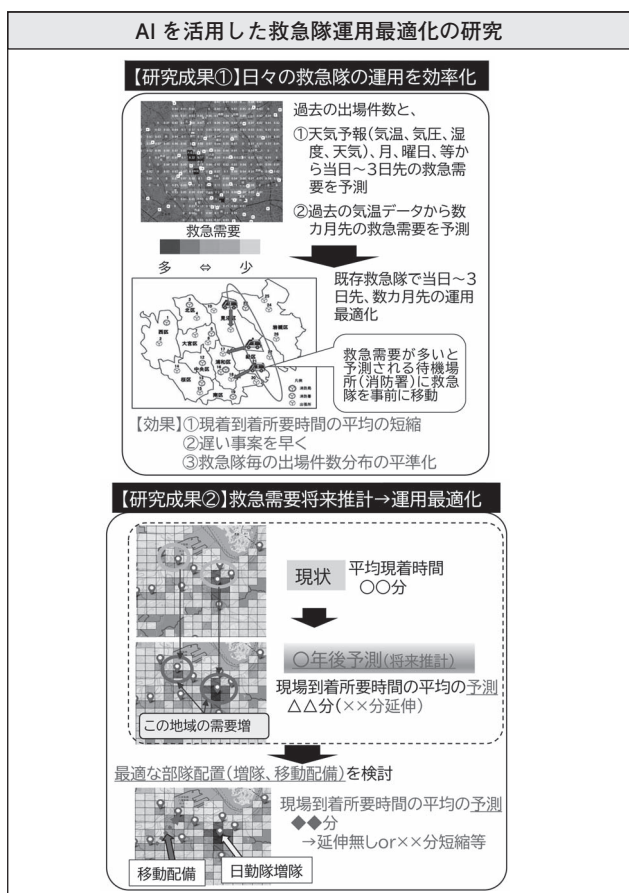


図1 AIを活用した救急隊運用最適化の研究開発の概要

2. 研究成果の具体例

次に研究成果の具体例を示します。

2.1 研究成果① 日々の救急隊の運用を最適化

日々の救急隊の運用を最適化するものとして、救急隊2隊を移動配置した北九州市消防局の具体例を示します。

既存の2隊の救急隊を天気予報から計算されたその日の最も現場到着時間の平均が短くなると予測した消防署所へ移動配備しました。この移動配備は毎朝5時にコンピュータで計算した結果が届く指示書(図2)に従って行います。これを見た救急隊が9:30になったら移動先消防署所に移動して、移動先消防署所の救急隊として終了時間まで活動します。

この運用を行った場合の、効果を計算した結果を、図3に示します。図3の一番左の棒グラフが現状の救急隊配置における現場到着所要時間の平均で10.24分、その右側の真ん中の棒グラフが移動配備後の現場到着所要時間の平均で9.99分と0.25分短縮する結果となりました。(計算条件: 日時 令和5年1月1日～12月31日 月、金曜日(祝日を除く) 計96日間 9:30～12:30に今回の実証実験と同じの運用最適化を行ったとした場合のコンピュータでの計算結果)

一番右のグラフが1隊増隊した場合で現状の配置と比較すると0.38分の短縮となりました。これらの結果から、この移動配備により0.66隊分の増隊(0.25分(移動配備後の短縮時間)/0.38分(1隊増隊の短縮時間)=0.66)と同等の現場到着所要時間の平均の短縮効果となることが明らかになりました。

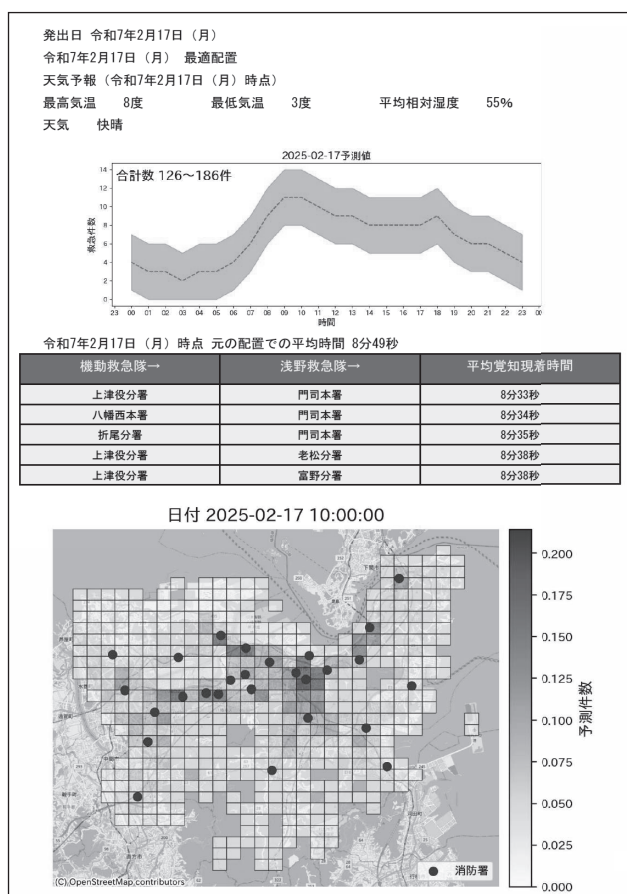


図2 移動配備の指示書

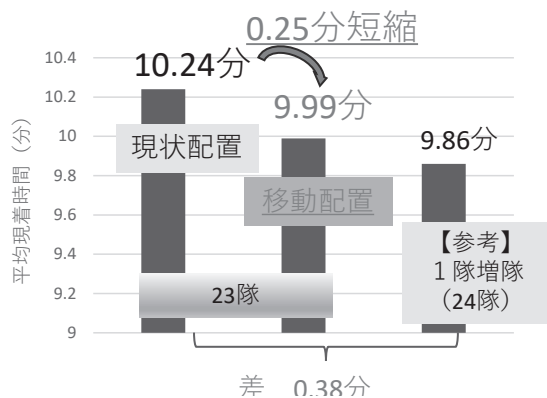


図3 移動配置による効果

2.2 研究成果②救急需要の将来推計から将来の運用を最適化

将来推計から運用最適化の具体例の説明として、藤沢市消防局の例をご紹介します。

図4に2022年～2040年の管内全体的出場件数予測を示します。

2本の線があるのは、人口当たりの救急搬送人数(以下 搬送率)が2022年と2023年では異なっていたため、それぞれの年における搬送率がそのまま推移した場合を想定して予測しております。ただし、85歳以上の搬送率に関しては、85歳以上の人口と相関している想定としております。

今後どちらの搬送率がより精度が高いかは最新のデータ分

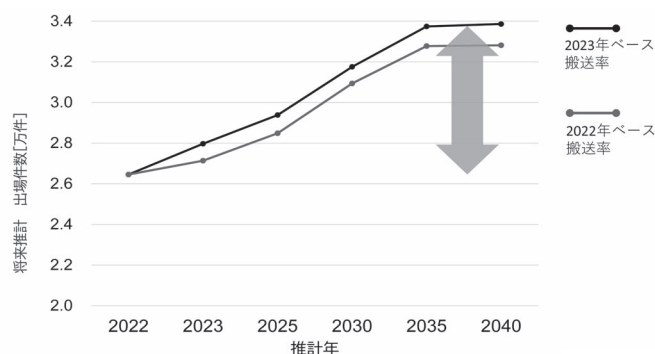


図4 救急搬送人員の将来推計結果

析を踏まえて検討していく予定です

図4の管内全体的出場件数の将来推計結果から1キロメッシュ毎の出場件数を予測しております。(図5)

2022年 → 2040年

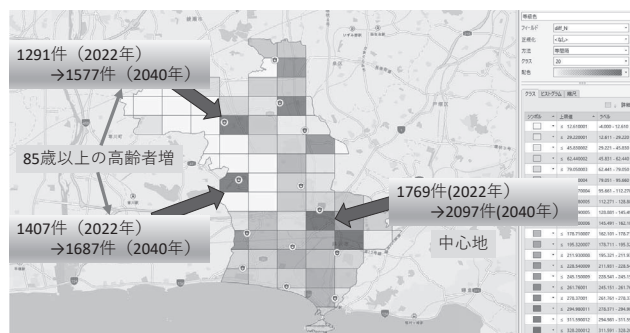


図5 1キロメッシュ毎の搬送人員予測

色の濃さは2022年から2040年の増加出場件数を示しており、色が濃いほど件数差が大きいことを示しております。

増加数の多い色が濃いメッシュは右下の中心市街地、左真ん中と左上の郊外の住宅地で、特に郊外の住宅地は85歳以上の増加が出場件数増加の大きな要因となっております。また、この結果を踏まえ現場到着所要時間の平均の延伸を予測したところ2022年から2030年には1.36分延伸する結果となりました。

次にこの2030年に救急隊を1隊増隊する場合、管内全体的現場到着所要時間の平均が何分短縮するのかをそれぞれの消防署毎に検討したところ、最も平均到着時間の平均が短縮するのが、片瀬分遣所で約0.7分短縮することが分かりました。

この手法では、通常の救急隊に加え日勤救急隊を含む複数隊の増隊や移動配備の検討も可能となっております。

3. 終わりに

この研究成果は、令和6年度中に実用化しており全国の消防本部を対象とした導入に向けたオンライン説明会を令和7年3月に実施し308の消防機関に参加していただきました。この説明会の結果、現在複数の消防機関で今後の導入に向けて検討を進めていただいております。

今後多くの消防本部の方に導入していただくことを期待しております。

チャレンジ! 乙種危険物取扱者 (第7回)

— 練習問題と解説 —

問 題

法令上、危険物取扱者に関する記述として、次のうち誤っているものはどれか。

- (1) 甲種危険物取扱者は、すべての類の危険物を取り扱うことができる。
- (2) 乙種危険物取扱者は、取得した類の危険物を取り扱うことができる。
- (3) 乙種危険物取扱者は、すべての類の危険物の取扱作業の立会いができる。
- (4) 丙種危険物取扱者は、取扱作業の立会いができない。
- (5) 丙種危険物取扱者は、第4類のうち、指定された危険物を取り扱うことができる。

解 答

正解 (3) 選択肢の内容は誤りであり、乙種危険物取扱者は取得した種類の危険物の取扱作業の立会いしかできない。

解 説

本問は、「危険物取扱者制度」について問う問題です。

甲種危険物取扱者は、すべての危険物の取扱い及び取扱作業の立会いをすることができます。乙種危険物取扱者は、取得した類の危険物の取扱い及び取扱作業の立会いをすることができます。丙種危険物取扱者は、第4類のうち、指定された危険物を取り扱うことができますが、取扱作業の立会いはできません。

※ 本解説は、解答についてのポイントを示すのを目的としたものであり、実際の試験問題との関連は一切ありません。また、当センターにおいては本解説を含め問題・解答に関する質問や考え方等についてのお問い合わせは原則お受けしておりません。

危険物取扱者・消防設備士試験のお申し込みは

いつでも、簡単、便利な電子（オンライン）申請をご利用ください!



- ☒ ご自宅からパソコン、スマホですぐに申込みできます。
- ☒ 受付期間中は24時間申込みができます。
- ☒ 受験資格証明書類は、申請画面からアップロードできます。
- ☒ 試験手数料は、クレジットカード、スマホ決済（PayPay、メルペイ）、コンビニ決済、ペイジーなどの各種お支払いがご利用になれます。

詳しくは、当センターホームページをご覧ください

検 索

危険物取扱者 電子申請

お知らせ

◆令和7年度オンラインによる消防設備士講習のご案内

(一財)日本消防設備安全センター 業務部講習課

(一財)日本消防設備安全センターでは、令和6年3月に指定講習機関として総務大臣の指定を受け、消防設備士にかかるすべての講習区分(特殊消防用設備等、消火設備、警報設備、避難設備・消火器)においてオンライン講習の受講を開始し、これまで多くの方にご受講いただいております。

当講習は、申込～受講～修了証発行まで一連の流れがすべてWeb上にて完結する仕組みになっているのが特徴で、会場での講習開催日に都合がつかない、繰り返し講習内容を確認したい、自分のペースで受講したい方にとって、受講しやすい環境を整えています。

また、当センターのオンライン講習では、各回の受講定員の上限は設けず、受講を希望する方の機会の拡大と利便性の向上を図っているところです。

消防設備士の講習をご検討されている皆様には、是非、当オンライン講習をご利用くださいますよう、ご案内申し上げます。

○講習スケジュール

第2回	第3回
申込期間：令和7年7月1日(火)～12月2日(火)	申込期間：令和8年1月6日(火)～3月3日(火)
受講期間：令和7年7月8日(火)～12月23日(火)	受講期間：令和8年1月13日(火)～3月24日(火)

○受講に必要な経費

受講手数料：7,000円(テキスト代及びテキスト送料を含む)

納付方法：クレジットカード納付又はコンビニエンスストア納付

詳細は、下記の当センターホームページ内の専用サイトをご参照ください。

ホームページ URL：https://fesc-setsubishi-online.jp



ホームページ URL
二次元バーコード

◆令和7年度危険物事故防止対策論文募集

消防庁・危険物保安技術協会

危険物を取り扱う事業所や消防関係行政機関等で取り組まれている事故防止や安全対策の活動などについて論文を募集します。普段行っている身近な行動に関するものなど、幅広く受け付けますので、皆様の積極的なご応募をお待ちしております。

1 論文の内容

危険物に係る事故防止や安全対策に関するもので、次のようなもの

- ・提言、アイデア、経験等
- ・事故防止に係わる知見の蓄積・教育方法
- ・事故の分析
- ・最新技術を利用した危険物施設の事故防止対策
- ・職場等の安全対策
- ・事故防止対策・安全対策に関するその他のもの

2 応募締切 令和8年1月31日(土) 必着

3 選考方法 学識経験者、関係行政機関の職員等による審査委員会において、厳正な審査を行います。

4 賞

消防庁長官賞

危険物保安技術協会理事長賞

奨励賞

賞状及び副賞(20万円)<2編以内>

賞状及び副賞(10万円)<2編以内>

賞状及び副賞(2万円)<若干名>

※副賞は危険物保安技術協会からお渡しいたします。

5 応募方法

ア 論文は、日本語で書かれたもので未発表のものに限り、ただし、限られた団体、組織内等で発表された場合は応募可能とします。(一部に限り、既発表の部分を使用する場合は、その旨を本文中に明記してください。)受賞論文は、危険物保安技術協会のホームページに発表されますので、必要に応じて関係者の事前の了解を取ることをお願いします。また、著作権等の問題を生じないようにご注意ください。

イ A4(字数換算：1ページあたり40字×40行程度)1枚以上10枚以内程度としてください。なお、図表及び写真は、文中への挿入、本文と別に添付のいずれも可能です。ただし、本文と別に添付する場合に、字数換算をA4(1ページあたり1,600字程度)で行い、全体を10枚相当分以内程度としてください。

ウ 論文の概要を添付してください。

エ 論文は、「論文タイトル」、「氏名(ふりがな)」、「連絡先(住所、電話番号、E-mailアドレス)」及び受賞論文発表時に明記する勤務先等がある場合の「勤務先名称及び所属」を記載した用紙を添付のうえ次のあて先(E-mail可)までお送りください。

オ 共同で取り組んでいる活動の場合には、連名応募も可としますが、代表者が分かるように記載ください。

カ 論文は、返却いたしません。

6 あて先及び問い合わせ先

危険物保安技術協会 事故防止調査研修センター

〒105-0001 東京都港区虎ノ門四丁目3番13号 ヒューリック神谷町ビル

E-mail アドレス khk_ronbun@khk-syoubou.or.jp

危険物保安技術協会ホームページ https://www.khk-syoubou.or.jp/

協賛 全国消防長会、一般社団法人日本化学工業協会、石油化学工業協会、石油連盟、電気事業連合会、一般社団法人日本鉄鋼連盟、一般社団法人日本損害保険協会、公益社団法人日本火災学会、全国石油商業組合連合会(順不同)

※上記のお知らせは、当消防試験研究センターによるものではありませんので、御質問については、各組織に直接お問い合わせください。

業務報告

8月の試験実施結果

■危険物取扱者試験

試験種類	受験者(人)	合格者(人)	合格率
甲種	322	111	34.5%
乙種第1類	304	208	68.4%
乙種第2類	343	234	68.2%
乙種第3類	470	324	68.9%
乙種第4類	8,622	2,806	32.5%
乙種第5類	439	285	64.9%
乙種第6類	419	293	69.9%
乙種計	10,597	4,150	39.2%
丙種	537	297	55.3%
合計	11,456	4,558	39.8%

□危険物取扱者試験実施支部等

北海道、青森、宮城、山形、福島、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、石川、京都、大阪、奈良、和歌山、島根、徳島、鹿児島、沖縄

■消防設備士試験

試験種類	受験者(人)	合格者(人)	合格率
甲種特類	156	42	26.9%
甲種第1類	1,534	479	31.2%
甲種第2類	649	161	24.8%
甲種第3類	620	224	36.1%
甲種第4類	2,856	852	29.8%
甲種第5類	623	169	27.1%
甲種計	6,438	1,927	29.9%
乙種第1類	284	89	31.3%
乙種第2類	108	39	36.1%
乙種第3類	110	37	33.6%
乙種第4類	1,339	440	32.9%
乙種第5類	131	46	35.1%
乙種第6類	5,190	1,628	31.4%
乙種第7類	852	505	59.3%
乙種計	8,014	2,784	34.7%
合計	14,452	4,711	32.6%

□消防設備士試験実施支部等

岩手、秋田、山形、福島、群馬、千葉、東京、富山、石川、福井、山梨、長野、静岡、大阪、兵庫、和歌山、岡山、広島、香川、愛媛、長崎、熊本、大分、宮崎

8月中の免状作成状況

(単位: 件)

	危険物取扱者免状		消防設備士免状		合計	
		本年度累計		本年度累計		本年度累計
新規免状交付	8,930	47,869	2,112	11,941	11,042	59,810
本籍等の書換え	174	794	28	142	202	936
写真書換え	10,246	49,607	1,216	5,249	11,462	54,856
再交付	897	4,447	90	325	987	4,772
計	20,247	102,717	3,446	17,657	23,693	120,374

※ 免状交付申請等の受付件数を計上しています。

※ 本籍等の書換えについては、新規交付、再交付又は写真書換えとの同時申請分を除いた件数を計上しています。

9月の試験実施結果

■危険物取扱者試験

試験種類	受験者(人)	合格者(人)	合格率
甲種	1,161	412	35.5%
乙種第1類	214	146	68.2%
乙種第2類	231	159	68.8%
乙種第3類	272	181	66.5%
乙種第4類	9,213	3,505	38.0%
乙種第5類	299	193	64.5%
乙種第6類	282	200	70.9%
乙種計	10,511	4,384	41.7%
丙種	369	236	64.0%
合計	12,041	5,032	41.8%

□危険物取扱者試験実施支部等

北海道、岩手、宮城、山形、福島、群馬、埼玉、東京、神奈川、新潟、石川、愛知、兵庫、和歌山、広島、徳島、熊本

■消防設備士試験

試験種類	受験者(人)	合格者(人)	合格率
甲種特類	108	33	30.6%
甲種第1類	1,647	471	28.6%
甲種第2類	323	105	32.5%
甲種第3類	332	111	33.4%
甲種第4類	1,968	610	31.0%
甲種第5類	318	125	39.3%
甲種計	4,696	1,455	31.0%
乙種第1類	255	60	23.5%
乙種第2類	117	34	29.1%
乙種第3類	158	46	29.1%
乙種第4類	724	260	35.9%
乙種第5類	99	43	43.4%
乙種第6類	2,872	1,033	36.0%
乙種第7類	481	291	60.5%
乙種計	4,706	1,767	37.5%
合計	9,402	3,222	34.3%

□消防設備士試験実施支部等

北海道、青森、山形、茨城、栃木、埼玉、東京、神奈川、愛知、奈良、広島、山口、熊本

9月中の免状作成状況

(単位：件)

	危険物取扱者免状		消防設備士免状		合計	
		本年度累計		本年度累計		本年度累計
新規免状交付	5,732	53,601	3,851	15,792	9,583	69,393
本籍等の書換え	149	943	24	166	173	1,109
写真書換え	8,988	58,595	1,254	6,503	10,242	65,098
再交付	893	5,340	59	384	952	5,724
計	15,762	118,479	5,188	22,845	20,950	141,324

※ 免状交付申請等の受付件数を計上しています。

※ 本籍等の書換えについては、新規交付、再交付又は写真書換えとの同時申請分を除いた件数を計上しています。

危険物取扱者試験日程（願書受付が令和7年12月・令和8年1月にかかる日程分を抜粋）
※試験日など変更になることがありますので、ホームページ等で確認して下さい。

支部等名	試験日			受付期間		甲種	乙種						丙種	受験地・ 注意事項※
	月	日	曜日	開始日	締切日		第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第6類		
北海道	2月	8日	日	12月 4日	12月 11日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種	函館市 外4箇所
	2月	15日	日	12月 4日	12月 11日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種	旭川市
	3月	8日	日	1月 26日	2月 2日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種	札幌市
青森	1月	24日	土	12月 8日	12月 15日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種	青森市 外1箇所
	1月	31日	土	12月 8日	12月 15日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種	弘前市 外1箇所
岩手	1月	17日	土	11月 25日	12月 2日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種	盛岡市 外2箇所
	1月	24日	土	11月 25日	12月 2日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種	花巻市 外3箇所
	1月	31日	土	11月 25日	12月 2日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種	仙台市
宮城	2月	15日	日	12月 15日	12月 23日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種	仙台市、注意事項あり
	3月	14日	土	1月 26日	2月 3日					乙4				仙台市、注意事項あり
秋田	1月	25日	日	12月 5日	12月 19日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種	能代市 外2箇所、注意事項あり
	2月	1日	日	12月 10日	12月 24日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種	秋田市 外3箇所、注意事項あり
山形	1月	24日	土	11月 28日	12月 11日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種	山形市
福島	2月	6日	金	11月 26日	12月 4日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種	広野町 外1箇所、注意事項あり
	2月	7日	土	11月 26日	12月 4日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種	福島市会場 外2箇所、注意事項あり
	2月	28日	土	12月 10日	12月 18日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種	会津若松会場 外1箇所
茨城	2月	14日	土	11月 28日	12月 10日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種	つくば市、注意事項あり
	3月	7日	土	11月 28日	12月 10日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種	水戸市
栃木	3月	8日	日	1月 5日	1月 16日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種	宇都宮市
群馬	2月	8日	日	12月 12日	12月 23日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種	太田市、注意事項あり
	2月	14日	土	12月 12日	12月 23日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種	前橋市 外1箇所、注意事項あり
埼玉	3月	1日	日	1月 16日	1月 26日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種	さいたま埼玉大、注意事項あり
	3月	7日	土	1月 16日	1月 26日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種	
千葉	3月	1日	日	12月 23日	1月 20日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種	銚子市 外1箇所
中央試験 センター （東京）	1月	31日	土	12月 1日	12月 12日					乙4				中央試験
	2月	5日	木	12月 1日	12月 12日					乙4				
	2月	8日	日	12月 8日	12月 19日	甲種								
	2月	11日	水・祝	12月 8日	12月 19日					乙4				
	2月	28日	土	1月 5日	1月 16日					乙4				
	3月	1日	日	1月 5日	1月 16日		乙1	乙2	乙3		乙5	乙6	丙種	
	3月	8日	日	1月 13日	1月 23日					乙4				
	3月	15日	日	1月 19日	1月 30日					乙4				
神奈川	2月	8日	日	12月 9日	12月 23日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種	横浜市立大学、注意事項あり
新潟	3月	7日	土	1月 19日	2月 3日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種	新潟市 外2箇所
富山	1月	31日	土	12月 8日	12月 16日	甲種	乙1	乙2	乙3		乙5	乙6	丙種	富山市
	2月	1日	日	12月 8日	12月 16日					乙4				富山市、注意事項あり
	2月	15日	日	12月 8日	12月 16日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種	高岡市、注意事項あり
石川	1月	24日	土	12月 8日	12月 15日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種	金沢市
	2月	18日	水	1月 6日	1月 13日					乙4				
	2月	22日	日	1月 6日	1月 13日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種	
福井	2月	7日	土	12月 11日	12月 18日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種	福井市、注意事項あり
	2月	15日	日	12月 11日	12月 18日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種	
山梨	3月	15日	日	1月 15日	1月 23日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種	甲府市
長野	2月	8日	日	12月 1日	12月 11日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種	松本市
	2月	15日	日	12月 1日	12月 11日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種	長野市
静岡	2月	15日	日	12月 17日	12月 24日					乙4				沼津市 外6箇所
愛知	1月	18日	日	11月 25日	12月 3日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種	名古屋市
	1月	25日	日	11月 25日	12月 3日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種	
三重	2月	21日	土	12月 16日	12月 25日					乙4				津市
滋賀	2月	27日	金	1月 7日	1月 14日					乙4				大津市、注意事項あり
	2月	28日	土	1月 7日	1月 14日					乙4				
	3月	1日	日	1月 7日	1月 14日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種	
	3月	2日	月	1月 7日	1月 14日					乙4				
	3月	3日	火	1月 7日	1月 14日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種	
京都	2月	1日	日	12月 5日	12月 12日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種	舞鶴市、注意事項あり
	2月	15日	日	12月 5日	12月 12日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種	京都市、注意事項あり
大阪	2月	15日	日	12月 11日	12月 18日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種	大阪大学
兵庫	2月	21日	土	1月 6日	1月 13日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種	姫路
	3月	1日	日	1月 6日	1月 13日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種	神戸 外1箇所
奈良	2月	15日	日	1月 5日	1月 13日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種	奈良県天理市
和歌山	2月	8日	日	12月 15日	12月 22日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種	和歌山市
	2月	15日	日	12月 15日	12月 22日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種	和歌山市 外2箇所
鳥取	3月	15日	日	1月 16日	1月 27日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種	倉吉市
	3月	22日	日	1月 16日	1月 27日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種	鳥取市 外1箇所
島根	2月	8日	日	12月 1日	12月 15日		乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6		松江市 外3箇所、注意事項あり
	2月	15日	日	12月 1日	12月 15日		乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種	松江市 外2箇所、注意事項あり
岡山	2月	8日	日	12月 8日	12月 18日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種	岡山大学、注意事項あり
	2月	8日	日	12月 8日	12月 18日		乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種	岡工（高校生、注意事項あり）
広島	3月	8日	日	1月 9日	1月 19日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種	広島市
	3月	15日	日	1月 20日	1月 27日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種	福山市
徳島	2月	14日	土	1月 6日	1月 13日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種	徳島、注意事項あり

香 川	3月 7日	土	1月 14日	1月 23日					乙4				高松市、注意事項あり
	3月 8日	日	1月 14日	1月 23日	甲種	乙1	乙2	乙3		乙5	乙6	丙種	高松市
愛 媛	1月 24日	土	12月 5日	12月 16日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種	愛媛大学 外2箇所、注意事項あり
	1月 25日	日	12月 5日	12月 16日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種	新工(高校生、注意事項あり
高 知	1月 25日	日	11月 21日	12月 4日					乙4				高知市、注意事項あり
佐 賀	2月 15日	日	12月 10日	12月 19日					乙4				佐賀市
長 崎	3月 15日	日	1月 19日	1月 30日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種	長崎市 外1箇所、注意事項あり
熊 本	2月 15日	日	12月 12日	12月 19日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種	熊本市
大 分	2月 22日	日	12月 23日	1月 8日					乙4				中津市 外2箇所、注意事項あり
宮 崎	2月 8日	日	12月 17日	1月 9日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種	宮崎市 外2箇所、注意事項あり
鹿 児 島	2月 1日	日	12月 4日	12月 11日					乙4				鹿児島市、注意事項あり
沖 縄	2月 15日	日	1月 7日	1月 15日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種	名護市 外4箇所

※受験地の詳細と「注意事項あり」の表示がある場合は、当センターホームページをご参照ください。

消防設備士試験日程（願書受付が令和7年12月・令和8年1月にかかる日程分を抜粋） ※試験日など変更になることがありますので、ホームページ等で確認して下さい。																			
支部等名	試験日			受付期間		甲種						乙種							受験地・ 注意事項※
	月	日	曜日	開始日	締切日	特類	第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第6類	第7類	
北 海 道	2月 8日	日		12月 4日	12月 11日	甲特	甲1	甲2	甲3	甲4	甲5	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	乙7	札幌市 外5箇所
	2月15日	日		12月 4日	12月 11日	甲特	甲1	甲2	甲3	甲4	甲5	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	乙7	旭川市
	3月 8日	日		1月26日	2月 2日		甲1			甲4					乙4		乙6	乙7	札幌市
青 森	2月14日	土		1月 6日	1月 13日	甲特	甲1	甲2	甲3	甲4	甲5	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	乙7	八戸市
	2月15日	日		1月 6日	1月 13日	甲特	甲1	甲2	甲3	甲4	甲5	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	乙7	青森市
岩 手	2月21日	土		1月 6日	1月 13日	甲特	甲1	甲2	甲3	甲4	甲5	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	乙7	盛岡市
	2月28日	土		1月 6日	1月 13日	甲特	甲1	甲2	甲3	甲4	甲5	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	乙7	奥州市
宮 城	2月 1日	日		12月 8日	12月 16日	甲特	甲1	甲2	甲3	甲4	甲5	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	乙7	仙台市
秋 田	3月 1日	日		1月16日	1月30日	甲特	甲1	甲2	甲3	甲4	甲5	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	乙7	秋田市, 注意事項あり
山 形	1月17日	土		11月21日	12月 4日	甲特	甲1	甲2	甲3	甲4	甲5	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	乙7	山形市 外1箇所
福 島	3月14日	土		1月 7日	1月15日	甲特	甲1	甲2	甲3	甲4	甲5	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	乙7	福島市会場
茨 城	2月14日	土		12月 5日	12月17日	甲特	甲1	甲2	甲3	甲4	甲5	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	乙7	水戸市, 注意事項あり
群 馬	1月17日	土		11月21日	12月 2日	甲特	甲1	甲2	甲3	甲4	甲5	乙1	乙2	乙3	乙4			乙7	前橋市, 注意事項あり
	1月18日	日		11月21日	12月 2日	甲特	甲1	甲2	甲3	甲4	甲5	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	乙7	
埼 玉	2月 8日	日		12月19日	12月26日	甲特	甲1	甲2	甲3	甲4	甲5	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	乙7	さいたま市大塚, 注意事項あり
千 葉	2月11日	水・祝		12月 5日	12月19日	甲特	甲1	甲2	甲3	甲4	甲5	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	乙7	千葉市
中央試験 センター （東京）	2月 1日	日		12月 1日	12月12日					甲4									中央試験
	2月15日	日		12月15日	12月26日												乙6		
	2月21日	土		12月22日	1月 9日										乙4			乙7	
	2月23日	月・祝		12月22日	1月 9日	甲特		甲2	甲3		甲5								
	3月 7日	土		1月13日	1月23日		甲1												
	3月14日	土		1月19日	1月30日					甲4									
	3月20日	金・祝		1月26日	2月 6日												乙6		
神 奈 川	3月 8日	日		1月15日	1月28日	甲特	甲1	甲2	甲3	甲4	甲5	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	乙7	神奈川大学, 注意事項あり
新 潟	3月14日	土		1月22日	2月 6日		甲1	甲2	甲3	甲4	甲5	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	乙7	新潟市 外2箇所
富 山	1月25日	日		11月25日	12月 3日	甲特	甲1	甲2	甲3	甲4	甲5	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	乙7	富山市
石 川	2月15日	日		12月23日	1月 6日	甲特	甲1	甲2	甲3	甲4	甲5	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	乙7	金沢市
福 井	2月 1日	日		12月 4日	12月11日	甲特	甲1	甲2	甲3	甲4	甲5	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	乙7	福井市, 注意事項あり
山 梨	2月15日	日		12月11日	12月19日	甲特	甲1	甲2	甲3	甲4	甲5	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	乙7	甲府市
岐 阜	3月 8日	日		1月 9日	1月19日	甲特	甲1	甲2	甲3	甲4	甲5	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	乙7	岐阜協立大学
愛 知	2月15日	日		1月 5日	1月14日	甲特	甲1	甲2	甲3	甲4	甲5	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	乙7	名古屋市, 注意事項あり
三 重	3月 1日	日		12月16日	12月25日	甲特	甲1	甲2	甲3	甲4	甲5	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	乙7	津市
京 都	3月15日	日		1月14日	1月21日	甲特	甲1	甲2	甲3	甲4	甲5	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	乙7	京都市, 注意事項あり
大 阪	3月15日	日		1月14日	1月21日	甲特	甲1	甲2	甲3	甲4	甲5	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	乙7	大阪大学
広 島	2月 8日	日		11月26日	12月 3日	甲特	甲1	甲2	甲3	甲4	甲5	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	乙7	広島市
香 川	1月11日	日		11月20日	12月 1日	甲特	甲1	甲2	甲3	甲4	甲5	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	乙7	高松市
佐 賀	3月 8日	日		1月 7日	1月19日	甲特	甲1	甲2	甲3	甲4	甲5	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	乙7	佐賀市
長 崎	2月 1日	日		11月25日	12月 5日	甲特	甲1	甲2	甲3	甲4	甲5	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	乙7	長崎市, 注意事項あり
熊 本	3月15日	日		1月 8日	1月15日	甲特	甲1	甲2	甲3	甲4	甲5	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	乙7	熊本市
沖 縄	3月 8日	日		1月29日	2月 5日	甲特	甲1	甲2	甲3	甲4	甲5	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	乙7	西原町

※受験地の詳細と「注意事項あり」の表示がある場合は、当センターホームページをご参照ください。

Voice...

編集後記

2025 November

今年も早いもので11月となりました。皆様、AMラジオで放送されている「気象通報」という番組をご存知でしょうか。

馴染みのある方なら、「石垣島では、」で始まり、各地の気温や気圧などの観測結果が延々と読み上げられる番組とお分かりになると思います。この放送は1928年11月5日から始まり実に100年近く続く長寿番組とのことです。

今では天気予報や天気図は、私たちの生活に欠かせないものとして、あらゆる方法で目にすることができます。一方、気象通報は、テレビやスマホが見られない環境でも、障害物の影響が少ないAMラジオを通じて気象情報を聞き取り、専用の用紙に書き写して気圧をもとに等圧線を引くことで、天気図を作成できるのが特徴です。

現在も登山や漁業に携わる方が活用していると聞きますが、実際に描いている人の話では、天気図と実際の天気の関係が分かるようになり、慣れてくると放送を聞くだけで頭の中に天気図が浮かぶとのことです。

初めて挑戦する方には少々慣れが必要ですが、これから冬を迎えるにあたり、等圧線が詰まった天気図を描いてみて季節の到来を実感されてみてはいかがでしょうか。

その先の未来へ。

10年目の免状更新

危険物取扱者免状

氏名 消防 花子
 生年月日 昭和57年10月5日 本籍 東京都

種類等	交付年月日	交付番号	交付知事
甲種			
乙-1類			
乙-2類			
乙-3類			
乙-4類			
乙-5類	H27.04.01	00000	東京
乙-6類			
乙-7類			
丙種			

見本

写真の書換えは
 平成37年
 4月1日まで
 0000 0000 0000

印

消防設備士免状

氏名 消防 花子 **見本**

生年月日 昭和57年10月5日 本籍 東京都

種別等	交付年月日	交付番号	交付知事
初級（普通）			
初級（乙種）			
初級（丙種）			
初級（丁種）			
初級（戊種）			
初級（己種）	H27.04.01	000000	東京
初級（庚種）			
初級（辛種）			
初級（壬種）			
初級（癸種）			

写真の書換えは
平成37年
4月1日まで
0000 0000 0000

印

